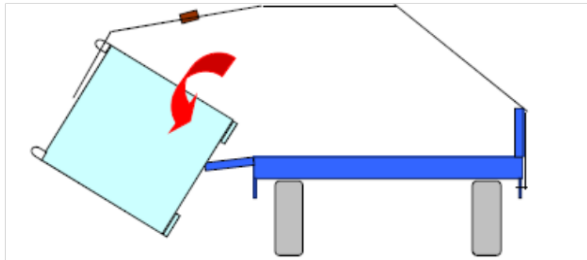


発生日時	平成 24 年 7 月 11 日 (水) 10 時 10 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	-	通行者	左腕上腕部打撲と創傷、国道(県管理)全面通行止め7時間以上)	
事故概要	薬液が入った容器を運搬中に落下させ、薬液が車道部に漏出し、路上で固化した薬液でバイクがスリップ、その運転者が転倒、負傷させたもの。 公衆損害事故-その他 公衆損害事故				

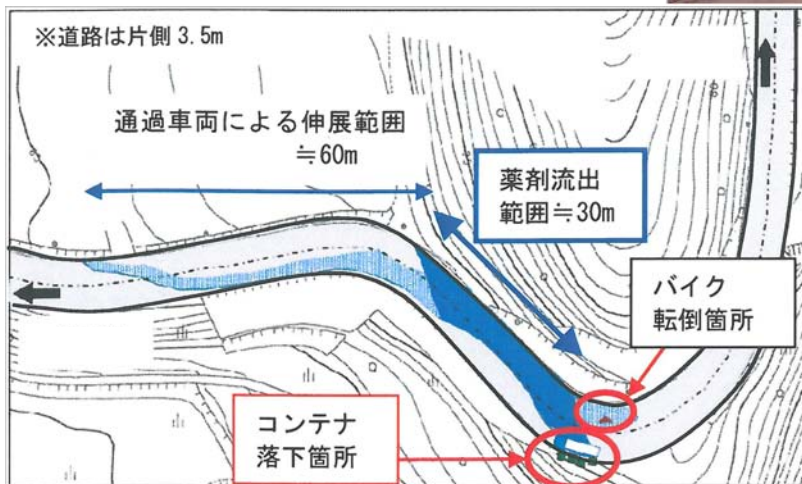
### 事故発生状況



コンテナ落下状況(推定)



薬液漏出状況



コンテナ損傷状況

- ・トンネル掘削の補助工法として使用する薬液注入材が入ったコンテナをユニック車で運搬。道路のカーブを曲がる際にコンテナが荷台から落下して、薬液が車道部に漏出。
- ・漏出した薬液が固化、走行してきたバイクがスリップして転倒、負傷させたもの。
- ・11時頃に全面通行止め、その後道路の清掃を実施。18時から全面通行止めを解除、片側交通でアスファルト切削工事を行い、23時45分には全面開放となった。(オーバーレイ工事は、後日実施)。

#### 【事故発生原因】

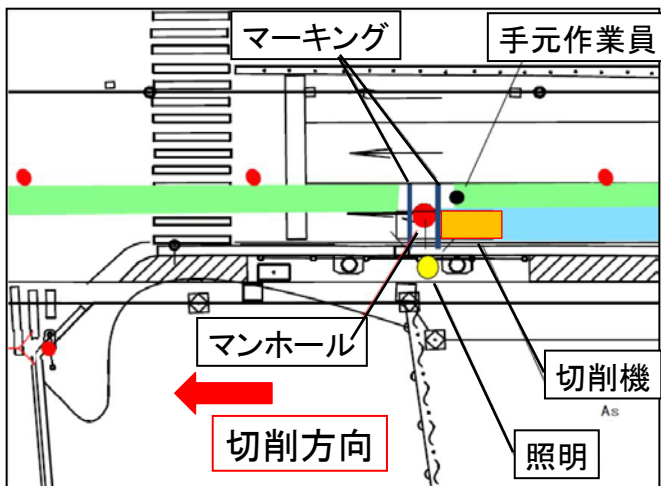
- ・積荷の固縛が不十分であったため。

#### 【事故防止のポイント】

- ・積荷の構造、内容物の特性に応じて、確実な固縛を行うこと。  
など

発生日時	平成 24 年 7 月 27 日 (金) 0 時 0 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 アスファルト舗装工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	マンホール蓋、受枠損傷	
事故概要	路面切削時に情報管路特殊部のマンホール蓋を損傷させたもの。				
	公衆損害事故-その他公衆損害				

## 事故発生状況



切削状況平面図

・車線復員3.5mの切削を2回に分けて実施。

・マンホール前にはマーキングを行い、手元作業員が手前で止める合図を切削機オペレータに行うこととなっていた。

・1回目切削時(左図緑着色)はマンホール前で切削機を止めて避けて施工したが、2回目(左図青着色)は手元作業員がマンホールギリギリまで接触させても大丈夫だろうと思い込み、接触させてしまった。



マンホール受枠損傷状況



マンホール蓋損傷状況

### 【事故発生原因】

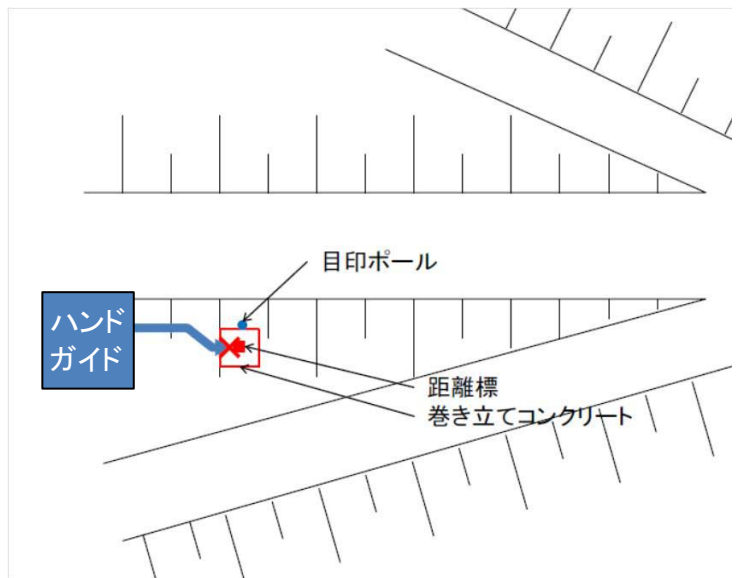
・支障物付近での切削について安全対策が不十分であったため。  
など

### 【事故防止のポイント】

・支障物付近での切削における安全管理をふまえた作業方法を作業員に周知・徹底する。

発生日時	平成 24 年 8 月 3 日 (金) 15 時 30 分				天候	晴
工事情報	河川系事務所 役務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	距離標損傷		
事故概要	ハンドガイド式で堤防除草作業中、距離標のコンクリート柱を損傷させたもの。					
	公衆損害事故-その他公衆損害					

## 事故発生状況



距離標損傷状況

- ・ハンドガイド式除草機械を使用し堤防除草作業中、距離標のコンクリート柱を損傷させたもの。
- ・距離標は、今年度に他業務で更新したもの。養生中であったため、注意喚起のポールを若干離して設置されていたため、距離標の位置を見誤り、接触したもの。
- ・施工計画書において障害物周りは先行除草を行う事となっていたが実施されていなかった。

### 【事故発生原因】

- ・施工計画書が守られていなかったため。  
など

### 【事故防止のポイント】

- ・施工計画書、作業手順書を遵守するよう作業員に周知徹底を行う。